

大石田温泉 あつたまり ランド深堀

大石田温泉あつたまりランド深堀



一日帰りでものんびりと。
120%大満足の温泉館。
名前の通り、あつたまりの湯で湯冷めしないのが特徴です。かわいらしい陶器風呂の「ねこぼす」もあります。また、隣接する「虹の館」は、大石田の四季折々の料理が楽しめます。そば打ち体験も好評です！

普門寺



坂道で道路が狭いので
車に要注意!

KOE no KURA

一声と声が出会い、新しいことが始まる場所—
「大石田町とソトの、ヒト・モノ・コトが交流する場所」をコンセプトに、大石田町の観光物産情報はもちろん、町の文化や町に住む人との繋がりを手伝いしている施設です。同時に、地域の方が集まるコミュニティスペースとしても機能しています。

大石田駅 展望台



一駅そのものが展望台—
大石田駅の屋根は大階段になっていて、登ることができます。えきぎやらりーを通り、展望台「みはらし」まで登ることもできます。

ここから景色を眺めてみるのもいいですよ!

町民交流センター虹のプラザ



—あなたと夢の架け橋になる—
大石田の新たな拠点として、「図書館」・「中央公民館」・「子育て支援」・「保健センター」・「社会福祉協議会」など、役場周辺に公的機関を集めた施設です。

向川寺

向川寺 仏舎利塔



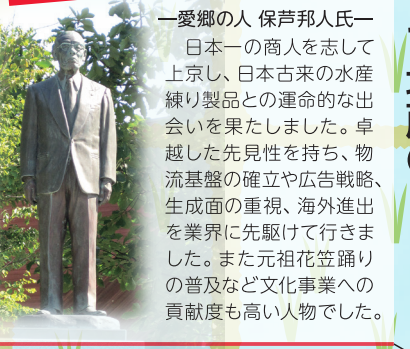
—600余年の法灯を伝える曹洞宗の有名なお寺—
芭蕉・茂吉をはじめとする多くの文人墨客が、向川寺門前の大イチョウをめぐりました。参道を登り切った高台には白く大きな仏舎利塔があり、内部を拝観できます。また、ライトアップされた夜間の姿は壮大です。付近には樹齢600年を超える大柱があり、田園の眺望も楽しめます。

桜並木

夜間は暗いので
ライト必須!!

大石田町には、尾花沢スイカの大きな出荷場があります。夏は活気にあふれています。

名誉町民保芦邦人翁の像



—愛郷の人 保芦邦人氏—
日本一の商人を志して上京し、日本古来の水産練り製品との運命的な出会いを果たしました。卓越した先見性を持ち、物流基盤の確立や広告戦略、生成面の重視、海外進出を業界に先駆けて行きました。また元祖花笠踊りの普及など文化事業への貢献度も高い人物でした。

子育て地蔵

普門寺

施設内には「KOE no HAKU」コーナーもあり、手作りのおしゃれな雑貨が売られています!

JA 直売所つなぎ

地元の野菜のほかに、手作りのパンや巾着などの雑貨もあり、居心地の良い直売所です。

大石田町役場

町民交流センター虹のプラザ

坂道で歩道がないので気を付けて歩こう!

保芦邦人翁の像

新しくきれいで、落ち着く空間です!

クロスカルチャープラザ

こゝを鑑賞に魅了されます。

大石田中学校

坂道だ!がんばれ!

桜並木



迫力満点で怖いイメージですが、よく見るとユーモアがある表情です。

西光寺



—町文化財登録・仁王像及び仁王門—
大仁王像は、慶応3年に柴田喜蔵氏が20余人の職人の協力を得て作成したものです。身の丈1丈2尺(3m64cm)の木造で、寄せ木造りの迫力のある大きさです。また、病氣やけがにご利益があるということで、仁王像の股くぐりなども行われています。

地面のライトが光るので夜間も安心!

特殊堤防壁画



—最上川ビューポイント—
大石田河岸は江戸時代、最上川舟運の中枢として栄えました。石垣や塗り壁で再現された船役所跡大門や600mあまりの壁画は、往時の繁栄を偲ばせます。

町立歴史民俗資料館



—大石田町の歴史が満載—
大石田町には、松尾芭蕉や正岡子規、齋藤茂吉といった著名な文人、希代の画家たちが訪れ、その足跡を遺しています。これらの歴史と文化に関わる貴重な文化財が保存されています。

乗船寺



—町指定文化財・木造釈迦如来涅槃像—
涅槃像は、江戸時代に京都でつくられました。京都方面より最上川に入り山形へ向かう途中、大石田付近での悪天候に阻まれ、大石田町乗船寺に安置されたとされています。寄せ木造りで漆箔彫眼201.5cm、沙羅双樹の下で涅槃にいられたお釈迦さまを表し、金箔が処々剥けているのは、参詣者が徳にあやかろうとして触れたためです。

虹の郷コース 約35分

松尾芭蕉の歴史コース 約70分